

※このルールブックは、WRO 2026 RoboMission Generalルールをもとに、WRO Japan RoboMission 競技委員会がWRO 2026 Japan決勝大会 RoboMissionカテゴリ用に一部を修正し、その修正部分だけを記載しています。国際ルールの削除についての記載のない項目は、国際大会のGeneralルールに準じて実施します。

**GENERAL RULES**  
VERSION: JANUARY 15<sup>TH</sup> 2026

**WRO**<sup>®</sup>  
WORLD ROBOT OLYMPIAD™

**ROBO MISSION**  
BUILD AND PROGRAM  
A ROBOT THAT SOLVES  
TASKS ON A FIELD

**AGE GROUPS:**  
8-12 / 11-15 / 14-19

**WRO® 2026**  
**ROBOTS MEET CULTURE**

WRO international premium partners

**MathWorks** **aramco**

WRO international gold partners

**fischer technik** **ROBOROBO**  
LEARNING FUTURE

引用元および参照先: 国際大会Generalルール [WRO-2026-RoboMission-General-Rules-FINAL](https://wro-association.org/wp-content/uploads/WRO-2026-RoboMission-General-Rules-FINAL)  
<https://wro-association.org/wp-content/uploads/WRO-2026-RoboMission-General-Rules.pdf>

**3.5 チームメンバーは次のものをピットエリアや競技エリアに持ち込んではいけない。**

- 携帯電話やスマートフォン, スマートウォッチなど外部と通信できるもの
- USBメモリやSDカードなど外付けの記録媒体. ただし, 組み立て調整時間より前にロボットのSDカードスロットやUSBなどに挿入しておいたSDカードやUSBメモリは除く(国際ルール 5.10)
- カメラやビデオカメラなどメモリ機能のあるもの

※ 国際ルール 3.5は削除し本項に置換

**4.4 WRO Japan決勝大会当日のルールは, 以下の①から⑥までの階層があり, 6が最上位階層であり, 大会当日のRoboMission競技委員会の判断を最終判断とする.**

※ 国際ルール 4.4.1から4.4.4は削除し本項に置換

#### 【エキスパート競技】

- 1 WRO 2026 国際大会のRoboMission General Rules
- 2 WRO 2026 国際大会のRoboMissionの各部門の競技ルール
- 3 WRO 2026 Japan 決勝大会の定めたGeneralルール(このルールブックの内容)
- 4 WRO 2026 国際大会におけるQ&A(8月14日(金)までの内容)
- 5 WRO 2026 Japan 決勝大会におけるQ&A(8月11日(火)まで質問受け付け)
- 6 大会当日のRoboMission競技委員会の判断

#### 【ミドル競技】

- 1 WRO 2026 国際大会のRoboMission General Rules
- 2 WRO 2026 Japan 決勝大会の定めた各部門の競技ルール
- 3 WRO 2026 Japan 決勝大会の定めたGeneralルール(このルールブックの内容)
- 4 WRO 2026 国際大会におけるQ&A(Japan決勝大会の競技ルールに関連する部分(11月20日(金)までの内容))
- 5 WRO 2026 Japan 決勝大会におけるQ&A(11月17日(火)まで質問受け付け)
- 6 大会当日のRoboMission競技委員会の判断

## 6. ロボットの仕様書

6.1 チームはロボットの仕様書(国際ルール17ページ B. 参照)を作成し提出しなければならない。  
仕様書は実際のロボットを反映させたものでなければならない。

6.1.1 Japan決勝大会においては「Battery」に関しては下記の情報を含めること。

- 電池種類: Li-Po, LiFePo(リン酸鉄リチウムイオン), Ni-MH(ニッケル水素)等
- 電池構成: 既製電池パック(※コネクタ含め無改造) / 自作電池(※単電池・セルを直列化し組電池として利用するケースや保護回路・コネクタなどを改造したケース)
  - 既製品の場合は型番・メーカー名・公式WebサイトのURLを記載, または仕様書(データシート可)を添付すること
  - 自作電池の場合はその旨記載し, システム図・回路図もしくは改造した箇所を説明する補足資料を添付すること
- 保護回路(PCM:保護回路モジュールまたはBMS:バッテリー管理システム): 有無
  - 過充電・過放電・短絡(ショート)保護回路の内蔵有無を記載すること
  - 既製の電池パック等で内部構造が不明・保護回路の記載や資料がないの場合は外部にヒューズ等の短絡保護回路を付加していることを示すこと
- PSEマーク(日本の電気用品安全法に基づく認証マーク・法令遵守要件): 有無  
※PSEマーク必須かどうかの法令基準(基準以下の容量の場合は非該当): リチウムイオン蓄電池(単電池一個当たりの体積エネルギー密度が400Wh/L以上のもの)  
[https://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/non\\_specified\\_electrical.html](https://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/non_specified_electrical.html)  
※参考: 18650型リチウムイオン大容量セルは一般に高密度のため基準超・PSE必須  
※参考: RC用など7.4V3000mAh程度の電池パックは基準以下・非該当の場合がある
- 定格電圧[V]および定格容量[mAh]
  - 例: 定格電圧7.4V, 定格容量2000mAh  
※組電池や直列接続の場合は直列状態での電圧・容量とする  
(例: 3.7V 2000mAhのセル2本直列の場合, 7.4V 2000mAhと表記する)  
※自作にて直列化・組電池にした場合はセル電圧と直列本数も明記  
(例: 定格電圧7.4V(セル電圧3.7V x 2直列))

6.2 仕様書はA4用紙2ページ以内でなければならない(必要な添付資料は含まない)。

6.3 仕様書は日本語で記述し, 読みやすい文字サイズを使うこと。

6.4 仕様書の提出はWebフォーム(後日指示)を利用し, 事前に提出しなければならない。期限までに仕様書の提出がない場合, 競技はエキシビジョンとなる。

※ 国際ルール 6は削除し本項に置換

7.2 (補足) Japan決勝大会では, 競技コースの枠の高さは50mmで実施する。

7.3 (補足) Japan決勝大会では, 競技マットの素材はスタンダードターポリンを使用し, 国際ルールで配布されている競技マット用のPDFファイルを印刷した競技マットを使用する((株)アフ

レルにて適合品が販売される)。

※ 国際ルール 7の補足

7.6 固定しなければならないオブジェクトは、厚みが薄く、粘着力が強力な両面テープで固定する

※ 国際ルール 7.6は削除し本項に置換

8.1(補足)WRO 2026 Japan決勝大会では、シーズンチャレンジの内容を「レギュラーミッション」として大会当日の前半に実施する。ミドル競技は、レギュラーミッションのみ実施する。

8.2(補足)サプライズルールは、エキスパート競技におけるJapan決勝大会の予選ラウンド(8月22日(土))のみ実施する。

8.3(補足)WRO 2026 Japan決勝大会では、エクストラタスクは実施しない。

8.5 On-Day-Challengeは、エクストラチャレンジとして、Japan決勝大会の決勝ラウンド(8月23日(日))の一部で実施する。エクストラチャレンジは、ルール発表後、一定時間を練習時間として確保し、車検実施後、順に時間計測を行う。

※ 国際ルール 8.4, 8.5, 8.6は削除

9.1 WRO 2026 Japan決勝大会は、次のように実施する。

9.1.1 エクスパート競技は予選ラウンドと決勝ラウンドの二日間(8月22日, 23日)で実施する。なお、それぞれのラウンドに出場するチームについては、11で説明する。

9.1.2 ミドル競技は一日のみ(2026年12月7日予定)オンラインで実施する。実施方法は別途WRO Japan公式サイト等にて発表・説明される。

9.1.3 大会当日は、ロボットを組み立てた状態で持参してよい。

※ 国際ルール 9.1は削除し本項に置換

【予選ラウンド】

- 1 サプライズルール発表
- 2 試走(60分を予定)
- 3 車検(スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと(国際ルール9.7).)
- 4 競技会(各部門の競技ルールに当日発表のサプライズルールを加えた競技会)
- 5 試走(30分を予定)
- 6 車検(スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと.)

7 競技会(各部門の競技ルールに当日発表のサプライズルールを加えた競技会)

8 結果発表(決勝ラウンドに進出できるチームを発表)

【決勝ラウンド】

1 試走(30分を予定)

2 プレゼン審査(シニア部門の予選ラウンド敗退チーム) ※ 競技会と並行して実施

3 車検(スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと(国際ルール9.7).)

4 ミッションチャレンジ競技会(各部門の競技ルールに沿った競技会)

5 試走(15分を予定)

6 車検(スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと.)

7 ミッションチャレンジ競技会(各部門の競技ルールに沿った競技会)

8 エクストラチャレンジ競技ルール発表

9 試走(70分を予定)

10 車検(スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと.)

11 エクストラチャレンジ競技会(当日発表のエクストラチャレンジルールに沿った競技会)

12 試走(20分を予定)

13 車検(スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと.)

14 エクストラチャレンジ競技会(当日発表のエクストラチャレンジルールに沿った競技会)

15 プレゼン審査(シニア部門の決勝ラウンド進出チーム) ※ 競技会と並行して実施

9.7 (補足)車検台には、スタートボタンを1回だけ押すとロボットがスタートできる状態で置くこと。つまり、実行するプログラムを選択した状態、もしくは、実行プログラムを実行した状態で置くことになる。ただし、LEGO SPIKE PRIMEは本体が一定時間経つと自動で切れるので、公平にプログラム選択できないよう、実行プログラムは「0」に入れておくこと。

※ 国際ルール 9.7の補足

9.9 予選ラウンドが終了した後、各チームはPCやロボット、バッテリーなどは持ち帰ること。夜間に大会会場で充電することはできない。

※ 国際ルール 9.9は削除し本項に置換

9.10 チームのランキングは、11で示す方法で決定する。

※ 国際ルール 9.10は削除し本項に置換

10.14 Mulliganは、Japan決勝大会では採用しない。

※ 国際ルール 10.14は削除し本項に置換

11. WRO Japan決勝大会でのランキングは、次のように決定する。

※ 国際ルール 11.1から11.5は削除し本項に置換

【予選ラウンド】

- 1 ミッションチャレンジにサプライズルールを加えたベストポイントの高い順
- 2 ①が同点の場合、ベストポイントの競技時間の早い順
- 3 ②が同点の場合、セカンドポイントの高い順
- 4 ③が同点の場合、セカンドポイントの競技時間の早い順
- 5 ④が同点の場合、同率の順位とする

【決勝ラウンド】

- 1 ミッションチャレンジとエクストラチャレンジのベストポイントの合計点の高い順
- 2 ①が同点の場合、ミッションチャレンジとエクストラチャレンジのベストポイントの競技時間の合計時間の早い順
- 3 ②が同点の場合、エクストラチャレンジのベストポイントの高い順
- 4 ③が同点の場合、エクストラチャレンジのベストポイントの時間の早い順
- 5 ④が同点の場合、ミッションチャレンジのベストポイントの高い順
- 6 ⑤が同点の場合、ミッションチャレンジのベストポイントの時間の早い順
- 7 ⑥が同点の場合、エクストラチャレンジのセカンドポイントの高い順
- 8 ⑦が同点の場合、エクストラチャレンジのセカンドポイントの時間の早い順
- 9 ⑧が同点の場合、同率の順位とする

12. WRO Japan決勝大会への選抜については、部門ごとに次の通りとする。なお、予選会から選抜されるチームは、各予選会に委ねる。

※ 国際ルールに追記

- 1 出場チームが多かった地区予選会で1位のチームをシードチームとして選抜(およそ12チーム)し、そのチームは決勝ラウンドから出場できる。
- 2 ①のチームを除き、各予選会から従来通りの割り振りでチームを選抜(およそ36チーム)し、そのチームは予選ラウンドから出場する。
- 3 ②で選抜されたチームは予選ラウンドを戦い、その上位チーム(およそ12チーム)が決勝ラウンドに進める。

---

13. プレゼン審査(エキスパート競技 シニア部門, ミドル競技参加者のみ該当)

※ 国際ルールに追記

エキスパート競技 シニア部門に出場するすべてのチームは、決勝ラウンドの当日にプレゼン審査を行います。詳しい内容は、別紙「プレゼン審査について」の資料を確認してください。

予選ラウンドで敗退したチームは、決勝ラウンド当日の午前中にプレゼン審査を実施します。審査員の指示にしたがって、各チームはロボットを持って、プレゼンエリアの自チームのプレゼンシートの前に移動し、プレゼン審査を受けてください。

決勝ラウンドに進んだチーム、および、シードチームは、エクストラチャレンジの2回目を終了し、得点集計が終わった後、主審の指示にしたがって、各チームはロボットを持って、プレゼンエリアの自チームのプレゼンシートの前に移動し、審査員の指示にしたがって、プレゼン審査を受けてください。プレゼン審査終了後は、ロボットを車検台に置き、ピットへ戻ってください。

ミドル競技に出場するすべてのチームは、決勝大会(オンライン実施)の当日にプレゼン発表を行います。PowerPointのスライドなどを利用し、攻略方法や工夫点、ロボットの特徴、苦労した点など、各チームのロボットを3分間で紹介してください。プレゼン終了後、プレゼンが良かったチームを参加チーム間で投票し、得票数が多かったチームに最優秀プレゼン賞を授与します。

## 14. オンラインソリューションへの対策

### ※ 国際ルールに追記

WROでは、ロボット競技を通じて、子どもたちがロボットの機構や制御プログラミングを学習し、身に付ける機会を与えることを目的としています。そのため、競技会は学習の成果を試す場所だと考えています。しかし、残念なことに、近年、国内外では、子どもたちへの学習ではなく、競技に勝つことだけを目的とした指導も増え、また、Web上には、オンラインソリューションとしてRoboMissionエキスパート競技を攻略するロボットがさまざま公開されており、中には、販売しているものも出てきています。

そこで、Japan決勝大会では、以下のようにロボットの写真とプログラムファイルを提出していたとき、競技委員長とチーフジャッジにて事前審査を行います。

また、Japan決勝大会において、試走時間や車検時間などの競技時間中に、チーフジャッジは確認のため、チームのロボットやプログラムに関連して質問する場合があります。選手は、それを拒むことをせず、説明してください。

なお、Japan決勝大会RoboMission競技委員会へ提出したロボットやプログラムが大きく変わったときは、Japan決勝大会2日前までに再提出してください。

### i 提出物

- A) Japan決勝大会に出場するロボットの前後左右上下6面の写真(最終ページ参照)
- B) Japan決勝大会に出場するロボットのプログラムファイル(LEGO社のアプリケーション以外のプログラミング環境で作成したプログラムに関しては、その環境についての説明書も添付)

### ii 提出方法

WRO JapanのWebページ内におけるフォーム(後日指定)

### iii 罰則

提出されたものとJapan決勝大会に出場しているロボットやプログラムが明らかに異なっている場合、競技はエキシビジョンとなります。

さらに、ロボットの写真やプログラムを期限までに提出していなかった場合や審判からの質問に答えなかった場合、競技はエキシビジョンとなります。また、審判からの質問に対し、うまく答えられなかった場合もエキシビジョンとなる場合があります。

### iv データの取り扱いについて

提出されたロボットの写真やプログラムについては、General Rulesの「3. Responsibilities and team's own work」について確認するためだけに利用し、Japan決勝大会当日までは、RoboMission競技委員長、および、チーフジャッジのみが閲覧可能とし、ロボットの機構やロボットのプログラムの著作権は保護いたします。なお、Japan決勝大会当日は、車検時にロボットの確認のため審判がロボットの写真を利用する場合があります。

Japan決勝大会終了後は、提出されたすべてのデータをRoboMission競技委員長が責任をもって破棄いたします。

【提出写真の例】

1. ファイル形式

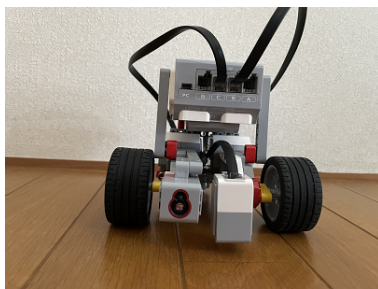
提出してもらう写真のファイル形式は、

- ・ JPEG形式(拡張子:.jpg, または, .jpeg)
- ・ PNG形式(拡張子:.png)

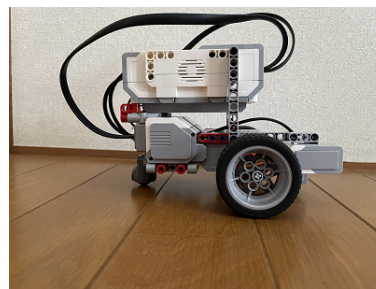
のいずれかとし、圧縮せずにアップロードすること。

2. 提出写真例

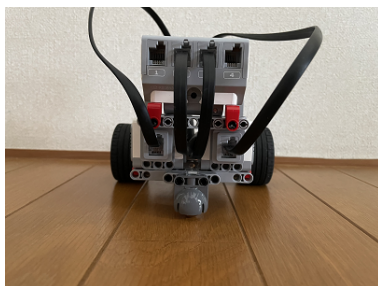
ロボットの写真は、次のように6方向から撮影すること。



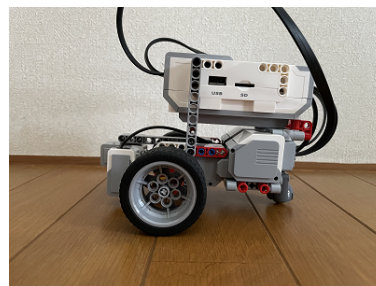
正面



右側面



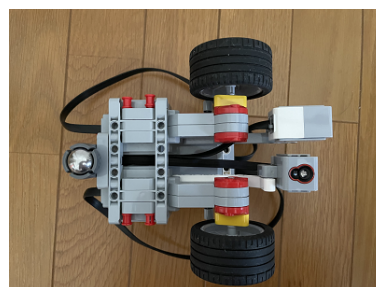
背面



左側面



上面



下面

以上